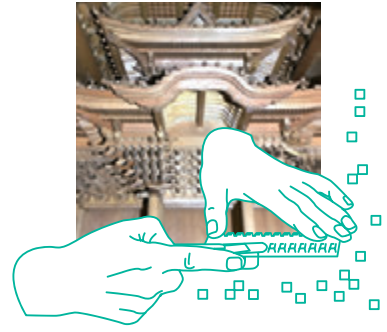


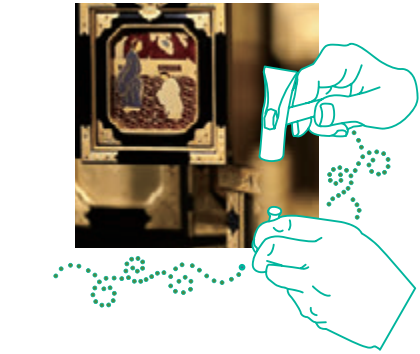
# 新潟仏壇 五職の匠



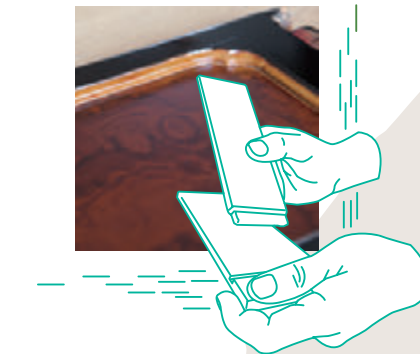
**木地師**  
良質の天然木を用い、ほとんど釘を使わない組み立て方式。仏壇の土台となる原型を細部まで造ります。



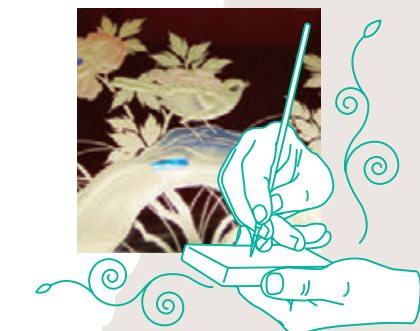
**彫師**  
平彫り、丸彫り、立体感を出す重ね彫り等、何種類もの彫刻刀を駆使して仏壇内部の図柄を彫り出します。



**金具師**  
銅や真鍮にタガネで丹念に打ち出します。飾り金具の多さと魚々子紋様が新潟仏壇の特徴です。



**塗師**  
下地を塗り、何度も繰り返し漆を塗り仕上げた後、金箔を一枚ずつ貼っていきます。その後、組み立ても行います。



**蒔絵師**  
漆を使い様々な絵模様を描き、金粉等で着色します。美しい蒔絵を多く使用しているのも新潟仏壇の特徴です。



三百年以上もの歴史を持つ新潟仏壇は、永い年月に育まれた独自の技術・技法と、品質の良さが生みだす「手づくり仏壇」として、経済産業大臣による国の伝統的工芸品産地の指定を受け、その高度な技術と荘厳優美な品格が高い評価を得ています。京仏壇の流れをくみ、当産地ならではの飾り金具や蒔絵を多用したお仏壇は、確かな品質と際立つ華やかさを兼ね備えています。五職と呼ばれる職人たちの、技の調和が造りあげる新潟仏壇には、手づくりのぬくもりが溢れ、長い間人々に愛され続けています。

※昭和55年指定当時は通商産業大臣  
指定品名は、新潟・白根仏壇



伝統的工芸品 新潟・白根仏壇 三十代 三方開き